IRV シリーズ共通簡易マニュアル

interluck 保存版

2022.

弊社は全国の契約販売店様へ機材を卸す企業の為、販売店様が実際に販売したお客様情報(販売情報及び個人情報)は持ち合わせておりません。 "事件事故の証拠物件としても利用されるセキュリティ機器の為、販売店様が持ち合わせる販売情報と整合の取れない相手側に対して、安易な対応は 避けるように"と関係機関より指導を受けております。その為、お客様から直接弊社宛に不具合や機器取り扱い等に関するお問合せを頂きましても、 お答えする事は差し控えております。ご理解ご了承下さい。全てのお問合せはお買い求め頂きました販売店までお願いいたします。

■ この簡易マニュアルは弊社の販売する防犯カメラ用録画装置(デジタルビデオレコーダー)の IRV シリーズ (IRV-HV8000/HD9000/AT6000/AT6000N/A7000/A7000N)の一部の機能の操作を簡易的に説明した冊子です。 より詳しい内容や詳細は製品付属の CD-ROM 内に収録されている各機種毎の製品取扱説明書と併用してご利用下さい。

目 次

- 1 本体操作: p1 再生 p3 操作 p6 バックアップ p8 アップデート p9 時計合わせ
- 2 Webブラウザ:p11 ブラウザの実行 p12 ブラウザの接続 p12 ログイン p13 再生 p14 バックアップ p16 バックアップファイル再生
- **3** SmartEyes Pro: p17 アプリの入手 p18 デバイス登録 p19 ライブ p20 再生 p20 再生操作
- **VMS:p21** インストール **p22** VMSの起動 **p22** デバイス登録 **p26** 再生 **p29** バックアップ **p32** バックアップファイル再生
- 5 NETUS-Pro:p33 インストール p33 起動と終了 p34 デバイス登録 p35 ライブの開始と終了 p37 再生 p39 バックアップ p41 バックアップの再生

レコーダーを操作するにはパスワードまたはユーザー ID とパスワードが必要です。 この簡易マニュアル内にはユーザー ID 及びパスワードは一切表記しておりません。 レコーダーを管理する方(管理者)にお問い合わせ下さい。 また管理者の権限により、レコーダーを直接操作する場合に限りパスワード入力を省略している 場合もあります。詳しくは管理者へお問合せ下さい。

11本体操作

手順1 再生

本機内部のハードディスクに保存された映像を再生します。

録画映像を再生するには、まず**何処(?月?日?時?分)から再生する**かを決める(検索する) 必要があります。本機では様々な再生(検索)手段を利用する事が出来ます。

録画映像はカメラの台数、録画条件、被写体条件、ハードディスク (HDD) 容量によって録画保存期間が大きく異なります。 初期出荷段階では上書き録画がONになっており、古い映像から削除され新しいデータが保存されます。 録画映像を再生するには管理者または登録されたユーザーID とパスワードが必要です。

カメラからの映像データは一旦本機内のメモリーに記録され、その後 HDD に書き込まれます。カメラの台数や設定により、実際に HDD にデータとして保存されるまで、おおよそ 5分~ 10 分程度の時間差が発生します。

簡易再生

ライブ画面のタスクバー上にある**再生**をクリックする事で、現時点でハードディスクに 保存されている**最も新しい映像(約 5 分前)から再生を開始**します。



検索再生

マウスを右クリックしメインメニューを表示させます。

検索のアイコンにマウスを合わせると 表示されるサブメニューから**目的の再生** (検索) パターンをクリックします。



カレンダー検索

カレンダーから再生を開始したい日付と、タイムバーから時間帯を検索して再生を開始します。

① カレンダー上の日付をダブルクリックし再生をクリックします。選択した日の現時間の最初から再生を開始します。

例えば、現時間が 17 時 25 分だった場合、17 時 00 分からの映像を再生します。 時間帯指定の場合は次の②に進みます。

② 時のタイムバー上から 0 ~ 23 の時をダブルクリックし再生をクリックします。選択した時の 0分から再生を開始します。

例えば、17(時)を選択し再生をクリックすると、17時00分から再生を開始します。 分指定の場合は次の③に進みます。

❸ 分及びカメラ CH バー上でマウスをドラッグ状態で左右に移動すると 0 ~ 59 の数字(分)が表示されるので、目的の数字(分)を表示させドロップし再生をクリックします。



日時指定再生

再生を開始したい日付と時間が判明している場合、 直接それらの情報を指定し再生を開始する事ができます。 数字をダブルクリックすることで▲▼のアイコンが 表示されます。



最後から再生

現時点でハードディスクに保存されている**最も新しい映像(約5分前)から再生を開始**します。

最初から再生

ハードディスクに保存されている**最も古い位置からの再生**を開始します。

前回の続きから再生

前回、**再生を停止した位置から再生**を開始します。本機を起動後初回の再生では「最後から」と同じ動作になります。本機を再起動した場合、再起動前に最後に再生を停止した位置から再生を再開することはできません。「最後から」と同じ動作になります。

POS 検索

弊社では本機と POS 機器との検証は実施しておりません。その為、この説明は省略します。

手順2 再生中の操作

録画映像を再生中、以下のような再生操作と特殊な再生モードを使用する事が出来ます。





画面分割切替:モデル(チャンネル数)により分割パターンは

異なります。

⊕(

デジタルズーム:分割表示の場合はチャンネル選択が必要です。1 画面の場合は 3 段階の デジタルズームモードに切り替わります。デジタルズームモードを終了する 場合はマウスを右クリックします。



タイムバー:再生位置を表します

再生速度インジケーター



逆再生:押す毎に逆再生速度が変わります。

x1, x2, x4, x8, x16, x32, x300 倍

4

x1

コマ戻し



一時停止



コマ送り



再生:押す毎に再生速度が変わります。x1, x2, x4, x8, x16, x32, x300 倍

LIVE

LIVE: 通常再生が実行中(再生中)を表します。クリックすると再生モードを終了し、 LIVE モードに切り替わります。

ESC

ESC: 特殊な再生が実行中(再生中)を表します。

クリックすると通常再生モードに切り替わります。

検索再生

再生中、様々な条件や検索によって再生を行う**特殊再生機能**を 持っています。

再生中にマウスを右クリックしメニューを表示させます。 目的の再生モードを選択します。



スマート検索 ※機種によっては機能を持っていない、非対応のモデルがあります。

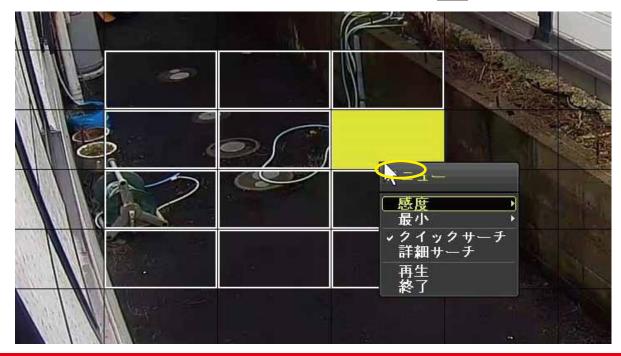
録画設定で連続録画(ベタ撮り)を設定していた映像に対して、選択エリア内に 映像の変化が発生したものだけを検索し表示します。

連続録画をモーション録画のようにして再生できる機能です。

- ◆ 分割表示の場合、スマート検索を選択後、表示されるサブメニューからスマート検索を実行したい チャンネルを選択します。1 画面の場合は次の②エリア選択に進みます。
- ②横 14 x 縦 15 のエリア選択で対象となる部分(マス)にマウスカーソルを合わせクリックします。マウスカーソルは黄色になり選択されたマスは黒枠から白枠へ変わります。白枠が選択された部分の映像に何等かの変化が生じた映像のみを検索します。エリア選択を中断させたい場合、右クリックで表示されるサブメニューの終了をクリックします。
- ❸エリア選択が完了後、右クリックで表示されるサブメニューの再生をクリックするとスマート検索が開始されます。検索を中断させたい場合はキャンセルをクリックします。
- ②スマート検索が完了すると映像は一時停止状態になりますので、
 ■再生をクリックします。
 選択されたエリアに

何等の変化があった映像のみを再生します。再生操作は通常再生モード同様使用できます。

5スマート検索モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、 ■ ESC をクリックします。

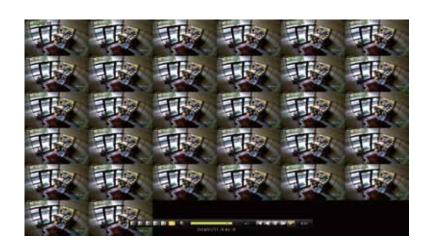


- ・スマート検索では1時間単位での再生となります。
- ・エリア感度を上げるなどの詳細検索を行うと、クイックサーチの約3倍以上の時間を有します。

パノラマ検索 ※機種によっては機能を持っていない、非対応のモデルがあります。

コマ(フレーム)単位で1つの映像をマルチ表示で再生します。

- ◆ 分割表示の場合、パノラマ再生を選択後、表示されるサブメニューからパノラマ再生を実行したい チャンネルを選択します。1 画面の場合はパノラマ再生が開始されます。
- ❷再生操作は通常再生モード同様使用できます。
- 3 パノラマ再生モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、 ■■ ESC をクリックします。
 - パノラマ再生は1時間単位での再生となります。
 - ・コマ(フレーム)単位での再生の為、小さなコマ(フレーム)数では効果的な再生ですが、 大きな設定(30fps や 15fps など)には向きません。



POS 検索

弊社では本機と POS 機器との検証は実施しておりません。その為、この説明は省略します。

カレンダー検索

p2の 検索再生 の カレンダー検索 と同じ。

マルチ時間

再生方法をマルチ時間再生に切り替えます。マルチ時間再生とは、**分割画面で特定のチャンネルの1時間毎の映像を再生**するものです。

- ① 分割表示の場合、マルチ時間を選択後、表示されるサブメニューからマルチ時間を実行したい チャンネルを選択します。1 画面の場合は次のマルチ時間再生が開始します。
- 2 再牛操作は通常再牛モード同様使用できます。
- 3 マルチ時間モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、 ESC をクリックします。

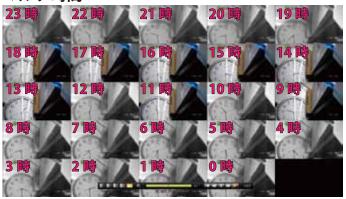
マルチ日

再生方法をマルチ日再生に切り替えます。マルチ日再生とは、**分割画面で特定のチャンネルの1 日毎の映像を再生**するものです。

- ◆ 分割表示の場合、マルチ日を選択後、表示されるサブメニューからマルチ日を実行したい チャンネルを選択します。1 画面の場合は次のマルチ日再生が開始します。
- 2 再生操作は通常再生モード同様使用できます。
- 3 マルチ日モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、 ESC をクリックします。

パノラマ検索、マルチ時間及びマルチ日の分割は、お使い頂いている機種のモデル (チャンネル数)によって異なります。

マルチ時間



マルチ日



イメージは IRV-HV8032 及び IRV-HD9032 の場合

イベント再生

再生メニューのイベント再生機能は、現在再生中の映像から、イベント録画された時間帯だけを 抽出し再生する機能です。

手順3 バックアップ

録画された映像情報・ログ情報・設定情報を USB メモリーに保存することが出来ます。 再生のプロセスからのバックアップ操作も可能ですが、ここではメインメニューのバックアップから バックアップ操作を行う手順を説明します。

- USB メモリーを本機のフロント(前面)の USB ポートに接続します。
- ② マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、バックアップのアイコンにマウスカーソルを合わせ、サブメニューからバックアップをクリックします。ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。



⑤ デバイス(バックアップデータを保存する USB メモリー)を選択します。通常は「**なし**」が 選択されていますので、▼をクリックし、接続されている USB の状態によって「デバイス 1」 または「デバイス 1 (新規)」を選択して下さい。

デバイス 1: この USB メモリーはすでにフォーマットされています。このままデータを書き込む 事は可能です。

デバイス 1 (新規): この USB メモリーはまだフォーマットされていません。このまま**表示される 指示に沿ってフォーマットを行って下さい。但し USB メモリー内のデータは全て消去され、 復旧する事は出来なくなります**。

間違えやトラブルを防ぐ為、本機に同時に接続(差込む) USB メモリーは 1 個のみをお勧めします。 「デバイス 1 (新規)」が表示されます。

② ファイル形式を「RMS 形式」または「AVI 形式」から選択します。通常は**「RMS 形式」**が 選択されています。

RMS 形式: バックアップと同時に再生ソフトが USB メモリーに保存されます。また本機付属の CD-ROM 内に収録されている専用のビュアー及び遠隔ソフトでも再生が可能なファイル形式です。 AVI 形式: 一般的な PC で再生可能なファイル形式です。 Windows PC の場合、標準で インストールされている Microsoft Media Player などで再生が可能です。

- **⑤** タイムインデックスから、**バックアップ開始の日時と終了の日時を指定**します。数字を ダブルクリックすることで▲▼のアイコンが表示されます。
- **⑥ バックアップするカメラ(チャンネル)にチェック(黄色)**を入れます。全てのカメラに チェックを入れたい場合は**「全チャンネル**」にチェックを入れます。
- **▽ データ量が空き容量をオーバーしないように**、バックアップ期間(時間)やチェックする チャンネル数で調整します。データ量の数字が赤で表示された場合は容量オーバーです。 白文字に収まるように調整して下さい。
- 設定が完了したら開始をクリックし、バックアップ確認のメッセージが表示されますので、 はいをクリックします。

18	ックアップ				\times
	情報				
	デパイス 1	V <mark>Ji</mark> ③ USI	DD Davice 3 メモリーを選択 _Mass_Storage	5	
	空き容量		1936	М	
	合計容量		1936	M ⑦ 容量チェ	w /
	データ量		1171 N	А	
	ファイル形式	RMS形式	t `	✓ 4 ファイル	形式を選択
	フォルダー名	2018	0118090000_20	180118090500_0	1
	タイムインデック	18/01/18 09:	00:00 ~ 2018	ップ期間を選択 3/01/18 09:05:0	
	□ 全チャンネル	(6) J	バックアップする	カメラ (チャン:	ネル) を選択
	□ CH 01	CH 02	■ CH 03	■ CH 04	
	☐ CH 05	☐ CH 06	☐ CH 07	☐ CH 08	
	☐ CH 09	☐ CH 10	☐ CH 11	☐ CH 12	
	☐ CH 13	☐ CH 14	☐ CH 15	☐ CH 16	
	進行状況				
				8 保存をクリ	ック
				開始終	7

⑦ 容量チェック

接続されている USB メモリーに指定した条件のバックアップデータが全て収まる (保存できる) 状態 (容量)



接続されている USB メモリーに指定した条件のバックアップデータが収まらない (保存できない) 状態(容量)



- ・RMS 形式で保存されたデータは、USB に同時保存される BuckupPlayer で再生します。
- ・レコーダーのファームウェア(F/W)が旧バージョンの場合、BuckupPlayer が同時保存されない場合があります。BuckupPlayer は製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。
- ・ AVI 形式で保存されたデータは、PC にデフォルトでインストールされているプレイヤーで再生できます。AVI ファイルが再生できない場合、レコーダーの画像圧縮が H.265 に設定されている場合は製品に付属の CD-ROM 内に入っている、または弊社ホームページからダウンロードできる VLC Player をご利用下さい。(VLC Player は 64bit PC 専用です)

手順4 アップデート

本機は PC やスマートフォン同様、オペレーション・システム(OS)上で動作しています。 その為、販売後は**定期または不定期でのファームウェア(F/W)アップデートが必要**となります。 この F/W アップデートには新機能の追加や世界中から寄せられた不具合に対する修正、 セキュリティ強化及びバグ修正などが含まれる**大変重要なもの**です。

お求め頂いた後の製品の所有権及び使用権は全てお客様または販売店様が保有されている為、 アップデート作業はお客様または販売店様で行って頂く事項となります。以下の手順で F/W アップデートを行って下さい。

F/W アップデートには USB フラッシュメモリー (USB メモリー) とパソコンをご準備下さい。

- ・ 最新 F/W が公開されると、弊社ホームページ上でその旨を公表し、ファイルのダウンロードが可能となります。
- ・本機はセキュリティ機器の為、自動アップデートや本機に接続されたモニター等に アップデートの必要に関するメッセージは一切表示されません。弊社の出荷検査の際には、その段階での最新 F/W をインストールして出荷しております。
- 最新の F/W ファイルを入手する。お使いの型番(機種)とチャンネル(モデル)を確認し、 適切なファイルを入手して下さい。型番及びモデルによって F/W ファイルは異なります。 誤って異なるファイルでアップデートを行うと機器が使用できなくなり、修理扱いと なりますので、十分にご注意ください。
 USB メモリーを PC でフォーマットし、何も入っていない空の状態にします。 入手した最新 F/W ファイルを USB メモリーへコピーします。弊社ホームページからダウンロード 頂いた F/W ファイルは .Lzh または .zip によって圧縮されています。USB メモリーへ コピーする前に PC でファイルを解凍し、拡張子が .bin になっている事をご確認して下さい。 最新 F/W ファイルの入った USB メモリーを本機のフロント(前面)USB ポートに接続します。 マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、設定のアイコンを左クリックします。 ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。

設定メニューの**システム**を左クリックし、**「5. アップグレード」のファームウェア**を クリックします。





- 2 USB メモリー内の F/W ファイルを検索し内容が表示されるので、ファイル名をクリックします。
- ❸ 現行バージョンと新バージョンの内容を確認し、アップデートを開始する場合ははいを クリックします。本機は自動でバージョンアップ作業を開始し、再起動します。



手順5 時計合わせ

本機内のカレンダー (日付と時刻)を合わせます。

本機がインターネット回線に接続されている場合、インターネット上の時刻同期サーバー (NTP)に自動で定期的に接続し時刻を合わせますが、そうでない場合は**定期的に手動で合わせる必要**があります。

本機の初期設定ではNTP 接続はOFFです。定期的な手動合わせが必要です。

手動で合わせる に沿って時計合わせを行って下さい。

またインターネット回線との接続を行う場合、NTP使用の場合に沿ってNTPサーバーとの時刻同期設定を行って下さい。



本機の出荷検査の段階で、時刻合わせは NTP サーバーによる時刻同期によって完了しています NTP サーバーを利用せず手動合わせで使用した場合、本機の設置環境(温度や湿度)が 適切でないまたは変動が大きい、電源電圧が不安定、周囲に磁気や電磁波を発生する及び 消費電力の高い機器が存在するなど、様々な理由から時刻は狂います。

定期的な調整(時計合わせ)は必ず必要です。

NTP 使用の場合

- ❷ 時間のアイコンをクリックし時刻同期のタブをクリックします。設定を開いた段階では時間のアイコンが選択された状態になっています。
- **⑤** 通常(初期状態)では「1. 時刻同期」がオフになっていますので、▼をクリックし NTP を選択します。

ユーザー設定:下記のサーバーアドレスに入力された**ユーザー指定の NTP サーバー**を利用します。

⑤ 上記でユーザー設定を選択した時のみ、編集が可能となります。枠内をクリックし「IP」または「URL」を選択します。

IP: NTP サーバーの IP アドレスを入力します。NTP サーバー管理者が公開している IP アドレスが必要です。

URL: NTP サーバーの **URL アドレス**を入力します。NTP サーバー管理者が公開している URL アドレスが必要です。

- **6** 1日の間に本機が NTP サーバーに時刻を問い合わせる回数を 1, 2, 4, 6, 24 回から選択できます。 1日の間に本機が通常は 24回(1時間に1回)が選択されています。
- **☆ 保存**をクリックします。





時刻同期機能を利用するためには、本機の「Ethernet 1」ポートがインターネットを含む NTP サーバが利用可能な TCP/IP ネットワークに接続され、適切な IP 設定が施されていなければ なりません。NTP サーバーに接続できない環境で時刻同期機能を利用しないでください。「オフ」の場合より時計のズレが大きくなる場合があります。

手動で合わせる

- **6** 時間のアイコンをクリックし時間のタブをクリックします。
- **③「1.日時」**の枠内の数字をダブルクリックすると▲▼アイコンが表示されますので、 設定したい日時に合わせます。

日時の数字がグレーの状態で編集できない場合、時刻同期の項目で「1. 時刻同期」が NTP に設定されています。時間を合わせる前に時刻同期の項目の「1. 時刻同期」をオフに選択し保存して下さい。

④「2.日付表示形式」の▼をクリックし、日付表示形式を選択します。

2018年10月5日の場合

- ・日/月/年 05/10/2018
- ・月/日/年 10/05/2018
- 年/月/日 2018/10/05 通常設定
- **6** 保存をクリックします。





2 Web ブラウザ

- Web ブラウザ (ブラウザ) での遠隔接続の場合、お使いのパソコン (PC) に不足している Windows プログラムやブラウザ拡張プログラム (プラグインソフト、アドオンソフト) を インストールする必要があります。
 - これらのプログラムは必要に応じインターネットまたは機器から入手しインストールされます。 ただし、お使いの PC やネットワークのセキュリティ環境や管理体制によって、安易にソフトを 社内ネットワークに接続された PC ヘインストールする事が出来ない場合や環境、管理的な 問題があります。このような場合、お使いの PC またはネットワークを管理しているネットワーク 管理者へお問合せ下さい。
- ② ブラウザでの遠隔接続は、各社共通のオープンソースによって<mark>必要最小限のみの機能を簡易的に操作できる事を前提に製作されています。その為、全ての操作や機能及び動作を 推奨するものでは無い事を事前にご理解ご納得頂いた上でご利用下さい。</mark>
- ③ ブラウザでの遠隔接続ではセキュリティ強化の為2段階認証を行います。その為ダイレクトリンクやショートカット、ブックマークからのログイン及び接続は通常は行えません。
- ④ ブラウザで使用できる機能はライブ映像監視、PTZ操作、再生及びバックアップ機能の4つに限られます。それ以外のオリジナル機能を利用する場合は、専用のソフトをご利用下さい。
- 対応しているブラウザは Microsoft 社の Internet Explorer Ver.11 以降のみとなります。
 Google Chrome や Microsoft Edge などの他のブラウザには一部機能が対応しておりません。
- ⑥ ブラウザでの遠隔接続では PC 環境 (PC スペック)、ネットワーク環境及び回線品質により ブラウザの操作や映像の動きに大きく影響します。
- ブラウザでの遠隔接続を行うには録画装置(レコーダー)のネットワーク設定及び同一ネットワーク外の場合はルータの適切な設定が必要となります。
- P2P接続でのブラウザでの遠隔接続はできません。

手順1 ブラウザの実行

Internet Explorer を管理者として実行して実行(起動)します。

※Internet Explorer のアプリアイコンを左クリック ➡ その他 ➡ 管理者として実行

通常の実行(Internet Explorer のアプリアイコンをダブルクリック)した場合、ライブ映像と再生の視聴は可能ですが、バックアップをとる事が出来ません。

ブラウザによるバックアップ機能は管理者に与えられた権限となります。

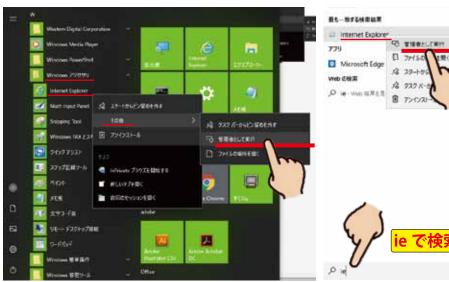
Windows 10 のデフォルトブラウザは Microsoft Edge となり対応しておりません。

Internet Explorer は【スタート → Windows アクセサリー → Internet Explorer → 左クリック → その他 → 管理者として実行】

または【スタートの検索バーに「ie」と入力 → Internet Explorer → 左クリック → その他 → 管理者として実行】



アイコンを左クリック → その他 → 管理者として実行



スタート → Windows アクセサリー → Internet Explorer → 左クリック → その他 → 管理者として実行

スタートの検索バーに「ie」と入力 → Internet Explorer → 左クリック → その他 → 管理者として実行

手順2 レコーダーへの接続

ブラウザ (Internet Explorer) のアドレスバーに http:// に続けてレコーダーに割当てられた同一ネットワーク内の場合はローカル IP アドレス (VPN 接続を含む) と Web ポート番号。 遠隔地の場合はグローバル IP アドレス (固定 IP アドレスを含む) または DDNS アドレスと Web ポート番号を入力します。

例

http://xxx.xxx.xxx : xxx

- ・ローカルIPアドレス
- ・グローバル IP アドレス
- ・DDNS アドレス

Web ポート番号

- ・ IP アドレスと Web ポート番号の間は「:(コロン)」を入れて下さい。
- ・ローカル IP アドレス (VPN 接続を含む) と Web ポート番号。遠隔地の場合はグローバル IP アドレス (固定 IP アドレスを含む) または DDNS アドレスと Web ポート番号は録画機を管理する担当者へお問合せ下さい。
- ・ブラウザにはデフォルトで通常「アドレスバー」と「検索バー」の2ヵ所の入力スペースが表示されています。検索バーの方に入力しないように注意して下さい。



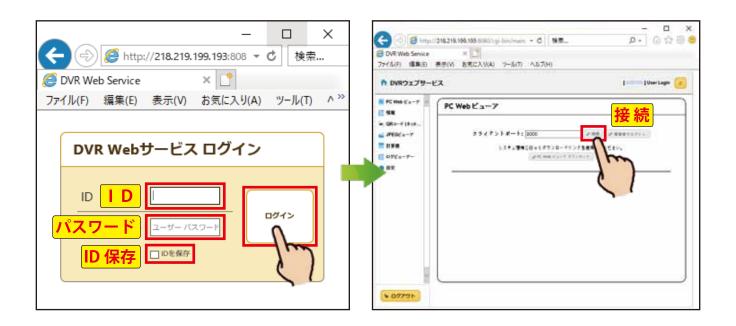
手順3 ログイン

- ① レコーダーの Web サービスログインページが開きますので、ID とパスワード欄にレコーダーに 登録しているユーザー ID とパスワードを入力し**ログイン**をクリックします。 ブラウザへ ID を記憶させ次回以降自動表示させたい場合は ID の保存 にチェックを入れた状態で **ログイン** をクリックします。
- 2 PC Web ビューアページが開きますので **接続** をクリックします。お使いの PC にブラウザでの 遠隔接続に必要な関連ソフトがすでに全てインストールされている場合、レコーダーに接続され ライブ映像が表示されます。

関連ソフトがインストールされていない場合、表示される指示に沿ってインストールを 完了させて下さい。

インストール完了後、ブラウザは強制的に一旦閉じますので、再び**手順1** から行い**手順2** の②で PC Web ビューアページを開き **接続** をクリックします。

注意 お使いの PC やネットワークのセキュリティ環境や管理体制によって、安易にソフトのインストールが出来ない場合があります。そのような場合は、お使いの PC またはネットワーク管理者へお問合せ下さい。



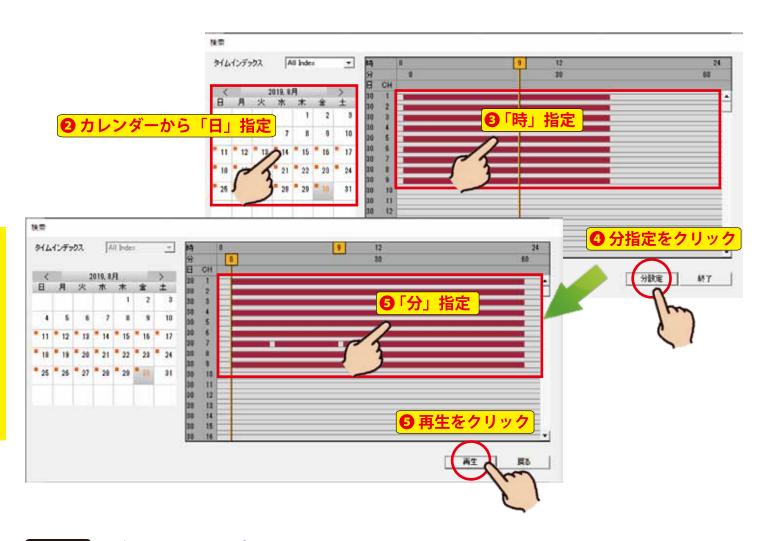
手順4 再生

ライブページから操作パネ<mark>ルの 再生</mark>をクリックします。<mark>5分前の映像から自動で再生を開始</mark>します。



日時を指定して再生したい場合、**検索**をクリックし表示されるカレンダーから日付をクリック ➡ バーグラフから時をクリックし **分指定**をクリック ➡ バーグラフから分をクリックし **再生**を クリックします。





手順5 バックアップ

- ・ブラウザを用いてのインターネット経由でのバックアップの場合、PC 及び回線に大きな負担をかける為、 PC の動作が重くなり回線速度が落ち、バックアップ時間が必要以上に長くなる場合があります。
- ・ ファイルの破損を避ける為、バックアップ中は PC で他の作業を行う事を極力避けて下さい。
- ・ バックアップ機能は再生ページからのみ行える機能です。ライブページの場合は一旦再生ページに切り替えて行って下さい。
- ・バックアップを実行するにはブラウザを管理者として開いておく必要があります。 手順1をご参照下さい。
- ・USB フラッシュメモリー (USB) に直接書き込む手段も可能ですが、バックアップに時間がかかりファイルが 破損する可能性が高くなります。その為一旦 PC 内のハードディスク (HDD) に保存し、その後 USB ヘバックアップファイルをコピーする 2 段階バックアップをお勧めします。ここではこの 2 段階バックアップについて説明します。
- 再生ページのバックアップをクリックします。



- ② バックアップの条件設定ページが開きます。各項目 (バックアップ条件) を指定し、最後に**開始**を クリックします。
 - (1) バックアップの開始日時及び終了日時の指定。
 - (2) バックアップ対象チャンネル (カメラ) も指定。全てのカメラを選択する場合は「□**全部**」に チェックを入れる。
 - (3) <mark>保存先</mark>を指定。デフォルトの保存先はお使いの PC のローカルディスク C (Windows のシステムドライブ) 内の Backup フォルダ (無い場合は自動で Backup フォルダを新規作成) バックアップファイルの保存先を変更する場合はここで行う。
 - (4) バックアップファイル形式 (フォーマット) を指定。デフォルトは【RMS Format】が 指定されているので、必要に応じて RMS Format または AVI Format を選択。 RMS Format: 専用のバックアッププレーヤー (BackupPlayer) でのみ再生が可能。 その為、専用ソフトを持たない物は再生する事が出来ない。複数台のカメラを同時再生が可能。

AVI Format:動画ファイルの基本フォーマットの為、多くの PC に標準インストール されている動画再生ソフトで再生が可能な為、だれでも再生する事が出来る。 複数分のカメラを同時更生が出来ない

複数台のカメラを同時再生が出来ない。

- (5) **Chuck** をクリック。空き容量に対しバックアップサイズがオーバーしていない事を確認する。
- (6) バックアップファイルに<mark>パスワード</mark>を付け保護したい場合、パスワード保存に チェックを入れオリジナルのパスワードを入力する。
- (7) 全てのバックアップ条件を設定後**開始**をクリックする。<mark>進行状況</mark>にバックアップファイルの転送状態が表示されていくことを確認する。
- (8) バックアップ完了のメッセージが表示されます。バックアップファイルを 2 次使用する場合は HDD に生成されたバックアップファイルを USB にコピーする。



手順6 バックアップファイル再生

バックアップの際、バックアップフォーマット「RMS」を設定した場合、複数台のカメラを同時再生する事が出来ます。

バックアップファイルを再生するには、<mark>専用の再生ソフト(Backup Player)が必要</mark>です。 専用のプレイヤソフトは製品付属の CD-ROM に付属されている「BackupPlayer」または Windows PC 専用遠隔監視ソフト**「VMS**」を利用します。

Backup Player は PC へのインストールは必要無くそのまま実行する事が出来ますが、 VMS は事前にインストールが必要です。

バックアップの際、バックアップフォーマット「**AVI**」を設定した場合、複数台のカメラを同時再生する事は出来ません。

AVI フォーマットは動画ファイルの基本フォーマットの為、多くの PC に標準インストールされている動画再生ソフトで再生する事が可能です。また再生の手順も非常に簡単で、バックアップファイルをダブルクリックする事で再生が開始されます。

① **BackupPlayea** を実行するには、CD-ROM からまたは HDD にコピーした BackupPlayea プログラムを直接実行または Windows PC 専用遠隔監視ソフト「VMS」をインストールしている PC の場合、スタートメニューの VMS フォルダー内にある BackupPlayer を実行。 VMS を実行しメインページ上のバックアッププレーヤーアイコン ② をクリックし Backup Player を実行します。



- ② バックアッププレーヤーが起動しますので、 【フォルダを開く】、または 【ファイルを開く】 アイコンをクリックし、バックアップファイルのフォルダまたはファイルを指定します。
 - **フォルダ**を選択した場合、複数のチャンネル(カメラ)を同時再生する事が出来ます。
 - •ファイルを選択した場合、チャンネル個別のバックアップ映像を再生する事が出来ます。 複数台のチャンネル (カメラ) を同時再生することは出来ません。



3 SmartEyes Pro

手順1 アプリの入手

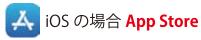
専用のスマートフォン用アプリケーション (App) を **入手**します。スマホのカメラを起動しQRコードを 読み取りアプリをダウンロードします。

注意 アプリのダウンロードにはお客様個人の ユーザー ID とパスワードが必要です。





ダ モ QR コードが読み取れない場合、ダウンロードストアにアクセスし





smarteyespro

を検索 \mathbf{Q}_{ι} 、ダウンロードして下さい。





Android

2 スマホのアプリをタップして起動します。

メ モ 初回のみ、スマホの機種によっては 通知やアクセス許可を求められる メッセージが表示される場合が あります。全て許可をタップして 下さい。



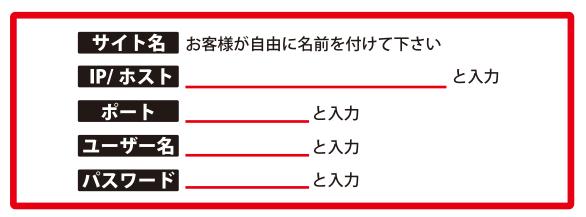


手順2 デバイス登録

10 i o s の場合は左上の + を、**Android** の場合は左下の**追加**をタップし、次に表示 されるサイトの追加方法から**手動入力**をタップし、録画機情報の入力を行います

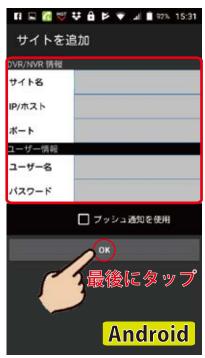


② 次の項目を入力後、最後にiOSは右上の完了をAndroid は下のOKをタップします。



注 意 登録情報は一文字でも誤ると録画機に正常に接続出来なくなります。十分にご注意下さい

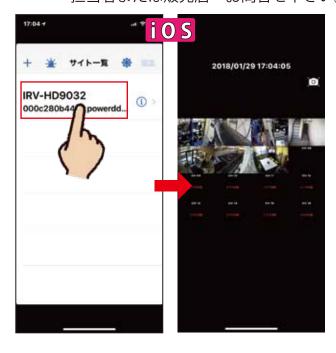




手順3 ライブ

接続リスト「登録したもの」をタップするとライブ映像が表示されます

注意 接続出来ない、映像が出ないなどの場合、録画機の設定の問題、インターネットの問題、 登録内容の誤りなど、様々な理由が考えられます。そのような場合はもう一度で確認頂くか、 担当者または販売店へお問合せ下さい。





手順4 ライブ操作

タップ メニュー表示 ダブルタップ 1画面表示

ピンチイン / アウト 1 画面表示の際はデジタルズームイン / アウト

上下スワイプ 分割表示切替(1 画面、4 分割、9 分割、16 分割)

左右スワイプ 表示チャンネル送り(表示チャンネルは分割表示と連動します)

モード 画面分割切替え

PTZ PTZ 操作

P.B に移動 再生

リレー出力 リレー出力設定

Speaking 双方向オーディオ ON/OFF









< 接続リストに戻る

SmartEyes Pro (App) は最新の OS (iOS/Android) に対応出来るように開発されています。 OS は最新の端末で使用できるように開発され定期的にアップデートされます。その為、端末は古いまま OS と App のみが最新バージョンにアップデートされる為、互換バランスが保てなくなり App が正常に動作しない場合や操作中に落ちる (App が強制終了) する現象が発生する場合があります。端末と OS の互換に関するメーカー サポートは、約3年~5年と言われています。この現象は SmartEyes Pro 以外の App でも同様です。

手順5 再 生

録画機に保存されている過去の映像を**再生**します。 $\stackrel{\bullet}{10}$ **S** Android 共に、操作はほぼ同じです。 LIVE 中の操作パネルの **P.B に移動** をタップ **→** 現時間帯の 0 分の映像が表示れ、再生操作を行う事が出来、さらに サーチ をタップし **日時** を指定し再生する事が出来ます。



手順6 再生操作

再生には**通常モード**と**倍速モード** の2つのモードが有り、用途に合わせて使い分けます





- **通常モード** 早戻し (16 倍速) **倍速モード** 倍速戻し (1,2,4,8,16,32,300 倍速)
- 逆再生 一時停止 ▶ 再生
- **通常モード** 早送り(16 倍速) **倍速モード** 倍速送り(1,2,4,8,16,32,300 倍速)
- 🔛 分割表示切替(1 画面、4 分割、9 分割、16 分割) 🔝 カレンダー/時間帯検索
- 🌉 🌉 再生モード(通常モード/高速モード)切替 🔛 ライブモードに切替
- メモ 1時間単位での連続再生が可能です。時間をまたぐ際、Continuous Play と言うメッセージが表示されますのではいをタップすると次の時間帯に移動します。

4 VMS

手順1 インストール

Windows PC 専用遠隔監視ソフトウェア【VMS】は、IRV-A7000/AT6000/HV8000/HD9000 (以下、レコーダーと言う) 付属の CD-ROM 内に収録されています。

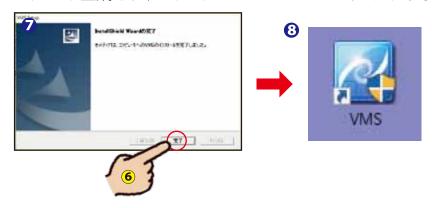
- **1** VMS フォルダ内の【**setup.exe**】をダブルクリックします。ユーザーアカウント制御に関する メッセージが表示されますので、【**はい**】をクリックします。
- **②「設定言語の選択」**が表示されるので、使用する言語を選択し【はい】をクリックします。
- ❸「VMS セットアップへようこそ」メッセージが表示されるので、【はい】をクリックします。



- ④ 「install Option (インストール オプション)」の選択メッセージが表示されるので、何もチェックをしないまま【はい】をクリックします。
- **⑤「インストール先の選択」**のメッセージが表示されるので、特別指定が無い場合は**【はい】**を クリックします。
- ⑥ インストール先を指定する場合は、【参照】をクリックし設定を行って下さい。 「セットアップステータス」が表示されますので、しばらくそのままでお待ちください。



- **▽「installShield Wizard の完了**」のメッセージが表示されるので、**【完了**】をクリックします。
- ❸ デスクトップに VMS アイコンが生成され、スタートメニューに VMS のフォルダがある事を確認して下さい。



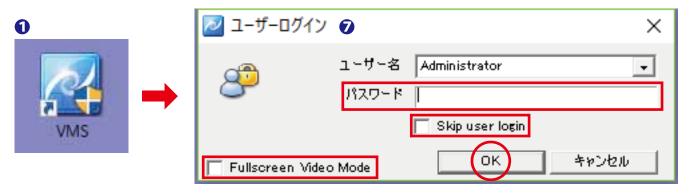
手順2 VMS の起動

- デスクトップの VMS アイコンをダブルクリックまたは、スタートメニューの VMS フォルダから VMS を起動します。ユーザーアカウント制御に関するメッセージが表示されますので、 **【はい**】をクリックします。
- **②「ユーザーログイン**」のウィンドが表示されますので、**パスワードを入力**し【**OK**】をクリックし ます。VMS の初期パスワードは数字の1 (イチ) が7個 *1111111" です。 VMS のパスワードはユーザー様(使用管理者)の責任の基で変更及び管理をお願いします。

情報漏洩や第三者の利用を防ぐ為、初期パスワードのままでの運用はお勧め出来ません。 必要に応じて「□ Skip user login」にチェックを入れ【OK】をクリックすると、次回から

パスワード入力の手順は表示されません。

必要に応じて「□ Fullscreen Video Mode」にチェックを入れ【OK】をクリックすると、 フルスクリーンモードで VMS が起動します。ここに 1 度チェックを入れ起動すると次回以降も チェックは入ったままの状態をキープします。



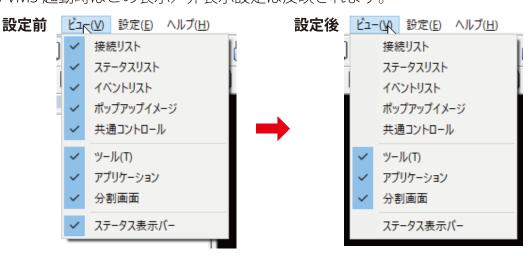
3 VMS を起動後、初期設定では言語設定は英語表示になっています。以下の手順で日本語表示に 切り替えて下さい。【System】 → 【App Setup】 → 【Language】 → Language Setup の English を 日本語に切替え**OK**をクリックし VMS ソフトウェアを**再起動**します。

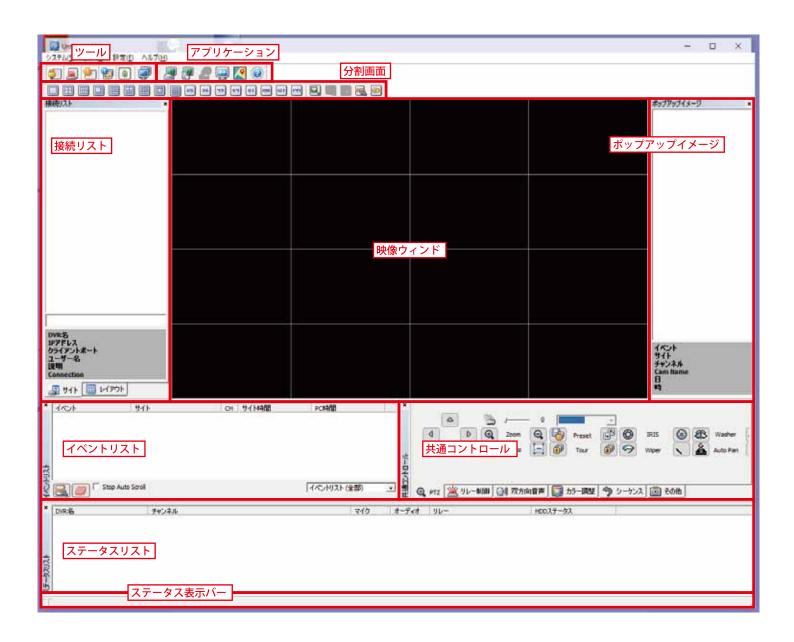
手順3 デバイス登録

VMS では、登録されているレコーダーから送られてきた様々な情報を専用のウィンドで 表示したり、操作を行う事ができます。このウィンドは VMS の使用状況に応じてユーザー様が 表示/非表示を設定し決める事が出来ます。VMS インストール後、初めての起動時はこの全ての ウィンドが表示されている状態ですので、現時点で必要としないウィンドを非表示する事を お勧めします。

①【ビュー】をクリックし表示/非表示を設定する事が出来ます。【接続リスト】、 【ステータスリスト】、【イベントリスト】、【ポップアップイメージ】、【共通コントロール】、 【ステータス表示バー】のチェックを外します。

次回以降も VMS 起動時はこの表示/非表示設定は反映されます。





②【設定】→【サイトマネージャー】を選択しサイトマネージャーウィンドを開き【Add/Edit】を クリックします。エディットサイトリストウィンドが開くので、【追加】をクリックします。



❸ サイト追加ウィンドが開くので、各項目を設定し最後に【登録】をクリックします。

エイリアス名:接続リストに表示されるレコーダーの名称

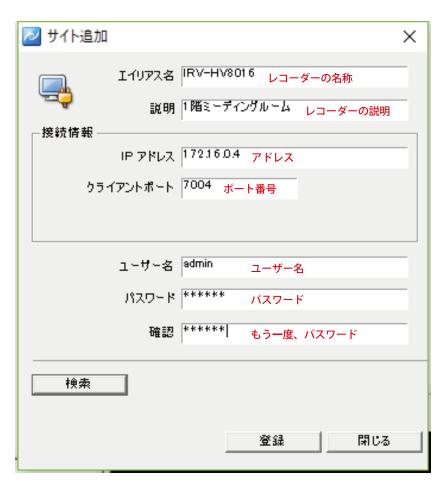
説明:レコーダーに関する説明(任意)

IP アドレス: ローカル (同一ネットワーク内) の場合はレコーダーに設定した IP アドレス、インターネット回線を利用した遠隔の場合は固定 IP アドレスまたは DDNS アドレスを入力

クライアントポート:レコーダーに設定した**クライアントポート番号**を入力 **ユーザー名**:レコーダーの**管理者ユーザー名または登録したユーザー名**を入力

パスワード:レコーダーに設定した**管理者ユーザーまたは登録したユーザーのパスワード**を入力。

確認:もう一度パスワードを入力

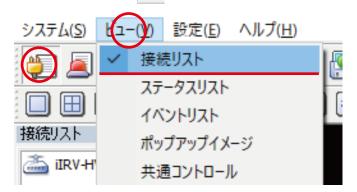


同一ネットワーク内にレコーダーを接続している場合、**【検索】**をクリックすることで 登録することは可能ですが、エイリアス名(レコーダー名称)と説明および IP アドレス欄には 検索された IP アドレス、クライアントポート欄に検索されたポート番号がそれぞれ代入されますが、 ユーザー名とパスワードは手動入力が必要となります。

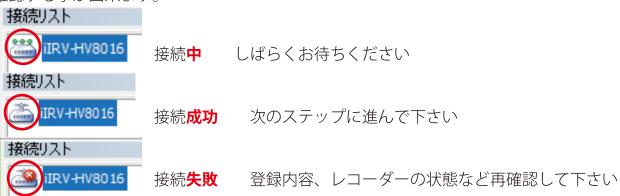
④ 表示されているエディットサイトリストウィンドに新しいレコーダーが登録されている事を確認し【閉じる】をクリックします。続けてサイトマネージャーウィンドにも新しいレコーダーが登録されている事を確認し【閉じる】をクリックし映像ウィンドに戻ります。

⑤【ビュー】をクリックし【接続リスト】にチェックを入れるかまたは ♥ アイコンをクリックし、

画面左側に接続リストウィンドが表示されます。







 接続が成功した状態で表示されているレコーダー アイコンを左クリックし【ビデオ開始】をクリックすると ライブ映像が表示されます。次回以降、VMS 起動時は ビデオ開始状態で動作する為、ビデオ開始を選択する 必要はありません。

【接続】レコーダーとの接続がされていない場合、 再接続

【切断】レコーダーとの接続を切断

【ビデオ開始】ライブ遠隔開始

【ビデオ停止】ライブ遠隔停止

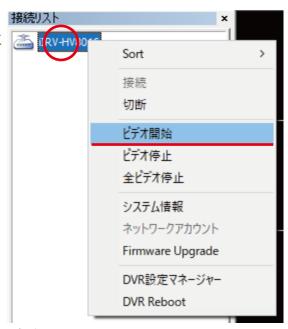
【全ビデオ停止】接続リストに登録済みのレコーダー 全てのライブ遠隔停止

【システム情報】レコーダーのシステム情報を表示

【Firmware Upgrade】レコーダーのファームウェアアップデート

【DVR 設定マネージャー】レコーダーの設定

【DVR Reboot】レコーダー再起動

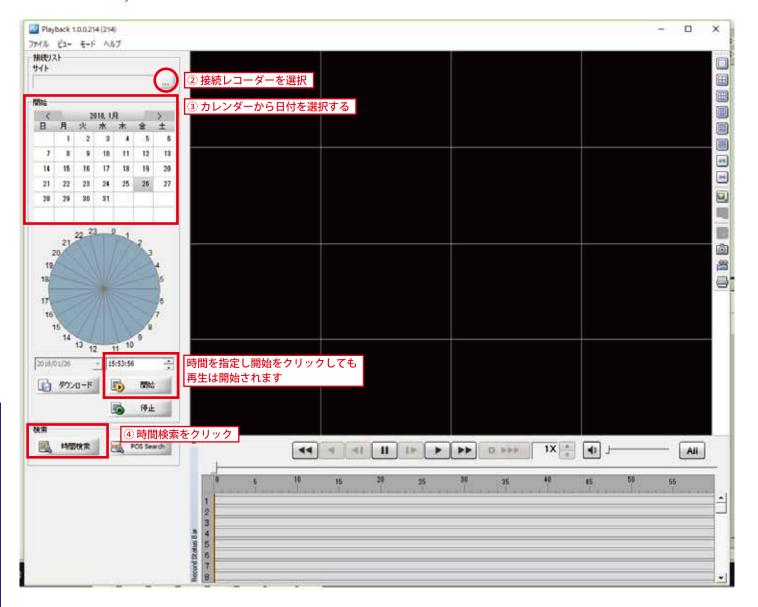


手順4 再生

再生アイコンをクリックします。 別ウィンドで Pleybook (再生) ウィンドが 立ち上がります。 Pleybook ウィンドが裏で起動する場合も ありますので、ご注意下さい。

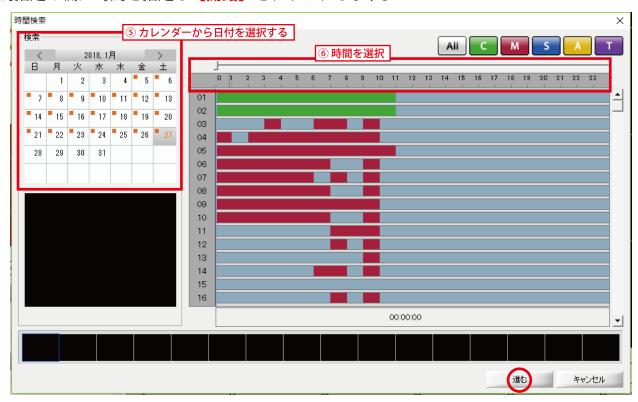


Playback ウィンドは一定時間操作が無い場合、自動で動作を停止し操作を受け付けなくなります。 その場合は Playback ウィンドを閉じ、もう一同再生アイコンをクリックして下さい。

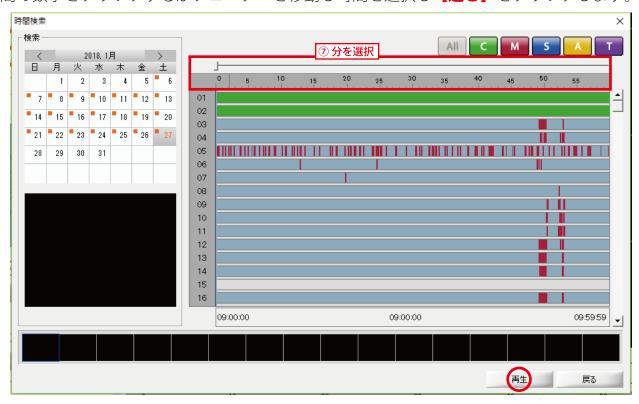


- - RMS 形式で保存されたデータは、USB に同時保存される BuckupPlayer で再生します。
 - ・レコーダーのファームウェア(F/W)が旧バージョンの場合、BuckupPlayer が同時保存されない場合があります。BuckupPlayer は製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。
 - ・ AVI 形式で保存されたデータは、PC にデフォルトでインストールされているプレイヤーで再生できます。AVI ファイルが再生できない場合、レコーダーの画像圧縮が H.265 に設定されている場合は製品に付属の CD-ROM 内に入っている、または弊社ホームページからダウンロードできる VLC Player をご利用下さい。(VLC Player は 64bit PC 専用です)

- 3 カレンダーから再生したい日付を選択する。
- ④【時間検索】をクリックします。時間を直接指定して再生を開始する事も出来ます。時間指定の欄に時間を指定し【開始】をクリックします。



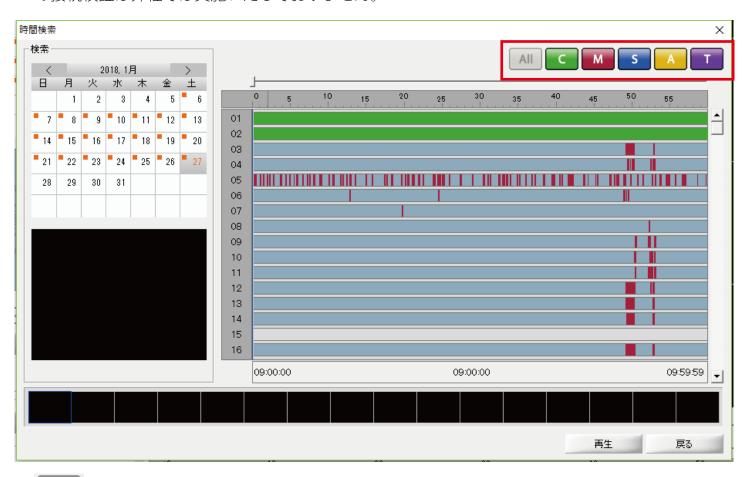
- ⑤ レコーダーは②で選択されていますが、③で選択した日付は時間検索では反映されません。 再びカレンダーから再生を開始させたい日付をダブルクリックします。
- ⑥ 時間の数字をクリックするかフェーダーを移動し時間を選択し【進む】をクリックします。



⑦ 分の数字をクリックするかフェーダーを移動し分を選択し【再生】をクリックします。 時間検索ウィンドが閉じ再生が開始されます。

■ カラーの表示について

タイムスケール上に表示されるカラーには以下の意味を表します。通常は All 全てが表示されていますが、必要に応じて、右上のカラーアイコンをクリックする事で、目的の録画パターンのみを表すこともできます。各録画パターンの詳細や設定手順はレコーダー本編マニュアルをご参照下さい。またテキスト(POS)録画は POS 機器とレコーダーとの接続検証は弊社では実施いたしておりません。



- All 全ての録画情報を表示します
- 連続録画のみを表示します。連続録画データは**グリーン**で表します
- **M** モーション録画のみを表示します。モーション録画データは**レッド**で表します
- s センサー録画のみを表示します。センサー録画データは<mark>ブルー</mark>で表します
- テキスト (POS) 録画のみを表示します。テキスト (POS) 録画データは パープルで表します

■ 再生コントロールについて

再生モードには主に巻き戻し、一時停止、再生、早送りのみを行う**通常モード ● トナ** と、通常モードに加えコマ戻及び送りを最大速度 300 倍まで設定できる**高速モード ● トナ** があります。



手順5 バックアップ

② 再生アイコンをクリックします。

別ウィンドで Pleybook(再生)ウィンドが立ち上がります。 Pleybook ウィンドが裏で起動する

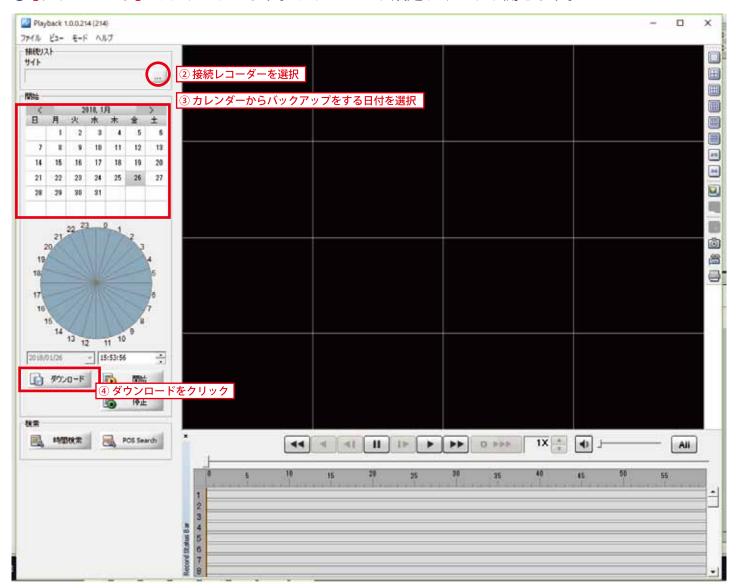
場合もありますので、ご注意下さい。



Playback ウィンドは一定時間操作が無い場合、自動で動作を停止し操作を受け付けなくなります。 その場合は Playback ウィンドを閉じ、もう一度再生アイコンをクリックして下さい。

② 接続リストの ・・・ をクリックし再生したいレコーダーを選択し【**○K**】をクリックします。 カレンダーからバックアップを行う**日付**をダブルクリックします。

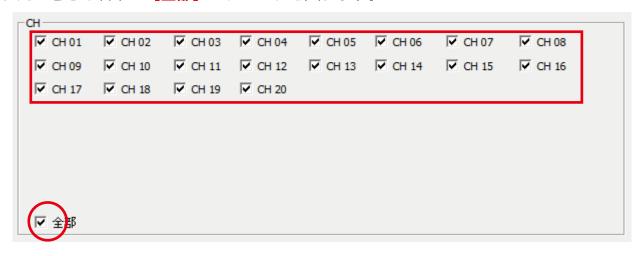
③【ダウンロード】をクリックします。ダウンロード設定ウィンドが開きます。



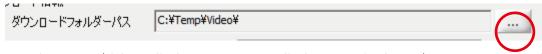
4 開始日時と終了日時を指定する。

開始日時	-終了日時	
2018-01-07 12:00:00	2018-01-07 12:10:00	

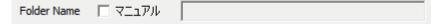
⑤ ダウンロードを行うチャンネル(カメラ)にチェックを入れます。全てのチャンネルにチェックを入れたいときは右下の**【全部】**にチェックを入れます。



ダウンロード先を指定します。デフォルトではお使いの PC のローカルディスク :C>Temp>Video フォルダに保存されます。変更する場合は 歩クリックし保存先を指定して下さい。 PC の USB ポートに接続された USB メモリーやハードディスクなどを保存先に指定すると、 ダウンロード時間が長くなる場合があります。一旦 PC のハードディスクへ保存後、 USB メモリーやハードディスクへダウンロードファイルの移動またはコピーをお勧めします。



⑦ Folder Name(フォルダ名)を指定します。何も指定しない場合はダウンロードの開始と終了日時、 登録レコーダー名称がフォルダ名となります。【マニュアル】にチェックを入れると独自の ファイル名を登録する事が出来ます。



- ③ ダウンロードファイルのフォーマット形式を選択します。ダウンロード後のファイル再生を考慮して選択して下さい。デフォルトでは RMS フォーマットが選択されています。
 - ・RMSフォーマット:ダウンロードファイルを再生するには、VMSと共にインストールされる専用の再生ソフト(Backup Player)が必要です。複数台のチャンネル(カメラ)を同時再生する事が出来ます。
 - **A V | フォーマット**: ダウンロードファイルを再生するには、多くの PC に標準インストールされているプレーヤーソフトなど、**専用の再生ソフトを使わなくても再生は可能**ですが、チャンネル(カメラ)1 台単位での再生となります。
 - **・EXEフォーマット**:ダウンロードファイルを再生するには、ダウンロードされたファイルを ダブルクリックする事で **専用の再生ソフトを使う事無く**また **PC に標準インストールされている プレーヤーを使う事無く**再生する事が出来ます。 再生ソフトと共にファイルをダウンロードします。 但しチャンネル(カメラ)1 台単位での再生となります。



⑨【Check】をクリックし、ダウンロードファイル容量を計算させ表示させます。 HDD 空き容量を確認します。

HDDの空き容量	1.71 TB	
ダウンロードサイズ	1.00 GB	Check



●【開始】をクリックしダウンロードを開始させます。ダウンロード経過でダウンロード状況が確認できます。

ダウンロードが正常に完了すると「ダウンロード成功&完了」のメッセージが出ますので、 【OK】をクリックします。

_ ダウンロード経過		
	O K	B / 0 KB
'		
	開始	キャンセル

手順6 バックアップファイル再生

バックアップの際、バックアップフォーマットを「RMS」に設定した場合、複数台のカメラを同時再生する事が出来ます。

バックアップファイルを再生するには、**専用の再生ソフト(Backup Player)が必要**です。 専用のプレイヤソフトは製品付属の CD-ROM に付属されている「**BackupPlayer**」または Windows PC 専用遠隔監視ソフト「**VMS**」を利用します。

Backup Player は PC へのインストールは必要無くそのまま実行する事が出来ますが、VMS は事前にインストールが必要です。

① いずれかの手段、CD-ROM からまたは HDD にコピーした **BackupPlayea** を実行、スタートメニューの VMS フォルダー内にある **BackupPlayer** を実行、VMS 上の バックアッププレーヤーアイコンをクリックで Backup Player を実行します。



- - ・フォルダを選択した場合、複数のチャンネル(カメラ)を同時再生する事ができます。
 - •ファイルを選択した場合、チャンネル個別のバックアップ映像を再生する事が出来ます。 複数台のチャンネル(カメラ)を同時再生することは出来ません。

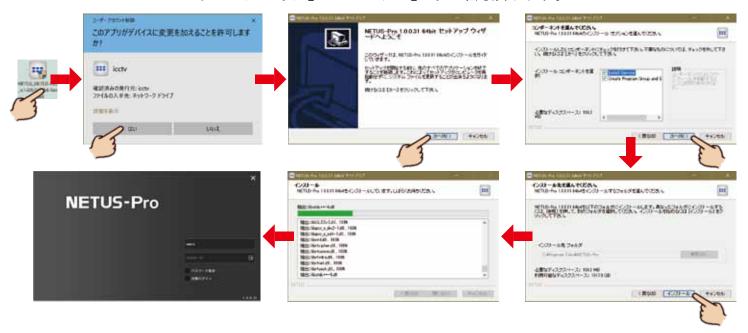


5 NETUS-Pro

手順1 NETUS-Pro のインストール

製品に付属している CD-ROM から、クライアントソフト NETUS-Pro をインストールします。

注意 ソフトは Windows 版と Mac 版があり、また Windows 版には 32bit 版と 64bit 版があります。 使用する PC 環境に合わせてお選びください。お使いの PC が 32bit 版か 64bit 版かは、 Windows の「コントロールパネル」→「システム」でご確認頂けます。



手順2 NETUS-Pro の起動と終了

NETUS-Pro はスタートメニューまたはデスクトップのアイコンから起動します

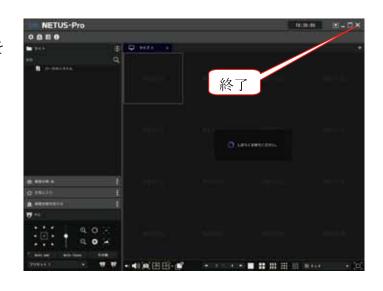


- ① ログイン ID: NETUS-Pro を操作するためのユーザーのユーザー ID を入力します。管理者のユーザー ID は admin
- ② パスワード: NETUS-Pro を操作するためのユーザーのパスワードを入力します。管理者パスワードは
- ③ パスワード保存:チェックすると、次回のログイン時からパスワードが入力された状態で表示されます。
- ④ 自動ログイン:チェックすると、次回からユーザー ID とパスワードの入力を省略することが出来ます。

注意 ここで使用するアカウントは NETUS-Pro 専用のもので Windows や機器(DVR・NVR 等)にログインするためのアカウントとは別のものです。また NETUS-Pro は、ログインするユーザー毎に操作範囲を設定することが出来ます。デフォルトの管理者パスワードは機器添付の CD-ROM 内に収録されている、NETUS-Pro 日本語取扱説明書を参照下さい。

NETUS-Pro を用いての PC での遠隔接続は PC スペックや双方のネットワーク環境、回線速度、回線コンディションやネットワーク機器、データ量などの面から「**常時接続**」には適しません。1日1回以上または必要に応じて PC 並びに NETUS-Pro の再起動が必要となります。

NETUS-Pro を終了する場合は、タイトルバーの 右端(ウィンドウ右上)にある **※ 終了**アイコンを クリックする。



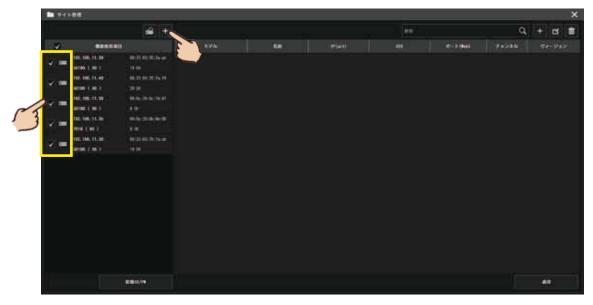
手順3 NETUS-Pro ヘデバイス登録

レコーダーの登録方法は NETUS-Pro が動作している PC と登録しようとしている機器との IP ネットワーク上の位置関係等の条件によって、同一ネットワーク内にある機器を登録するのか それとも異なるネットワーク内(VPN 及びインターネットの固定 IP を含む)にある機器を登録するのかによって手順が異なります。後者の登録に関しては機器添付の CD-ROM 内に 収録されている、NETUS-Pro 日本語取扱説明書を参照下さい。

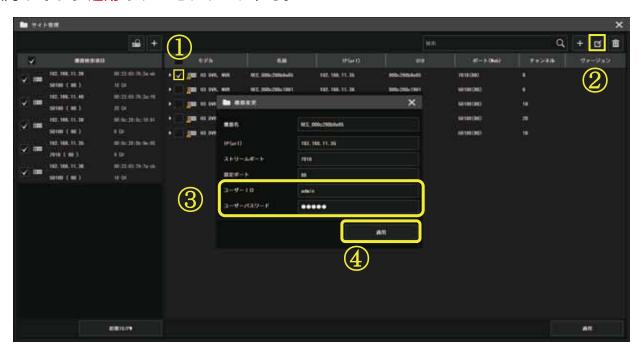
- 1 NETUS-Pro と接続しようとしている機器(DVR・NVR等)が同一ネットワーク(セグメント)内にある場合、機器検索機能を使って接続することが出来ます。
 - 📑 機器登録ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



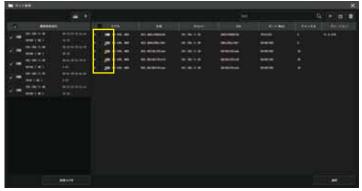
② 左側のリストに表示された機器の中から登録するものにチェックを入れ、
 機器自動追加 ボタンをクリックする

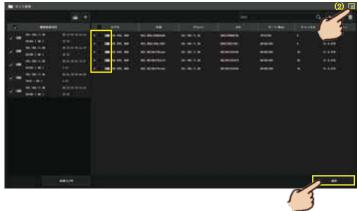


- 注意 認証情報は初期設定値のままです。機器に登録された接続情報(ユーザー ID やパスワード)が 異なる場合、▲ (警告) マークが表示され、正しい接続情報を入力しないと登録出来ません。
- 3 必要に応じてユーザー ID とユーザーパスワードを変更する。 変更の必要が無い場合は次の 4 に進む。
 - ▲警告マークの表示された機器の中から **1 つにチェック**を入れ **個機器変更**ボタンを クリックして「機器変更」ウィンドウで機器に登録しているユーザー ID とユーザーパスワードを 入力してから **適用** ボタンをクリックする。



4 他の機器に対しても5 の操作を繰り返し、全てのアイコンから▲ 警告マークを消し、適用を押し、続けて※ **※**アボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを閉じる。





手順4 ライブの開始と終了

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル (ライブモード) が開き、前回まで接続していたデバイスに再接続しライブ映像を映し出します。前回接続していたデバイスが無い、または接続先と繋がらない場合は何も映し出されません。

ライブ映像の開始

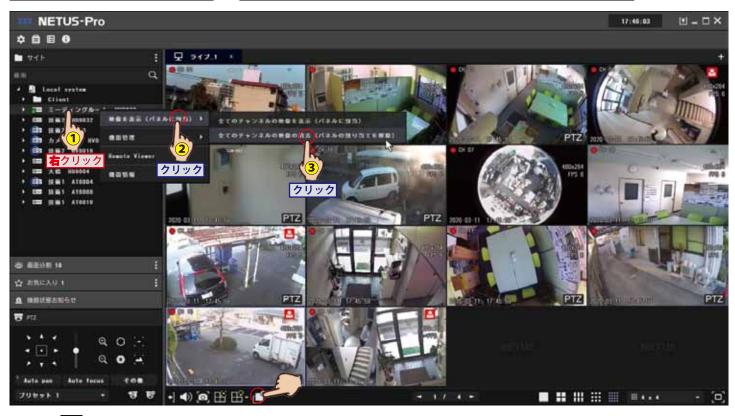
ライブ映像を映し出したいデバイスの名称を右クリックし 映像を表示(パネルに割当) → **全てのチャンネルの映像を表示**(パネルに割当) を選択



ライブ映像の終了

ライブ開始と同じくライブ映像を停止したいデバイスの名称を右クリックし

映像を表示 (パネルに割当) **⇒ 全てのチャンネルの映像の消去 (パネルの割当を解除)** を選択。



または **ご**表示オフ (パネルの割当を解除) アイコンをクリックします。このアイコンは押すと表示中の全ての表示を閉じる事が出来ます。

特定のチャンネルのみ非表示

非表示したい場合はチャンネルの右上の**×**をクリック。

チャンネルに接続されているマイクを ON にするには チャンネルの右下に表示される ▼ スピーカーアイコンを クリックします。PC のスピーカーから音声が流れますので、 PC のオーディオ設定を行って下さい。



NETUS-Pro では異なるデバイスの映像を **1 画面に最大 64** チャンネルまで同時に映し出す事が出来ます。但し PC スペック (特にビデオカードのスペック)、ネット環境、回線速度や品質に大きく依存します。

手順5 再生

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル (ライブモード) が開きます。再生には 1 チャンネルのみを最も新しい日付の近々 5 分~ 10 分前から再生する **即時再生**と、日付と時間帯を検索して再生する**通常再生**の 2 つがあります。

即時再生



② 即時再生を終了しライブ映像に戻るには、 即時再生の画面上にマウスポインターを 合わせ左クリックし即時再生モードを 終了をクリックします。



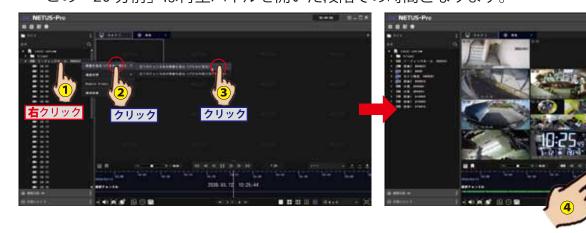


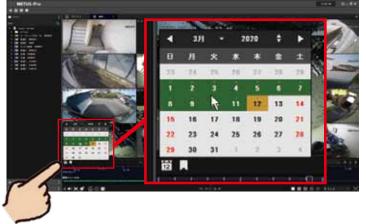
通常再生

- 1 ライブパネルにライブ映像を映し出したままの状態でも再生は可能ですが、バックグラウンドで常に大容量のデータを受信し続ける状態が続く為、PC スペックはもちろん通信回線速度も低下しそれに伴い再生機能も低下します。可能な限り**ライブ映像は停止**した状態で再生を行って下さい。
- **2** タブ追加ボタンをクリックし表示されるメニューから再生(上から2番目)をクリックします。



3 再生したいデバイスの名称を右クリックし 映像を表示 (パネルに割当) → **全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)** を選択します。デバイスに接続し約 2 0 分前の映像が映し出されますので **□** 再生をクリックします。 この「20 分前」は再生パネルを開いた段階での時間となります。







⑤ タイムバーの表示スケールはデフォルトで 1 時間です。変更する場合はタイムバー右上の ★ = +/ーアイコンを押します。

またタイムラインはデフォルトでは録画状態のトータルが表示されています。チャンネル毎のタイムラインを表示する場合は ♪ タイムライン拡張のアイコンをクリックします。



⑤ 事前に再生したい日付と時間帯がわかっている場合、直接検索する事が出来ます。 デバイスを選択するまでは通常再生と同じです。その後 ● 日時指定検索アイコンを押し日付と 時間を入力し 検索 を押します。



手順6 バックアップ

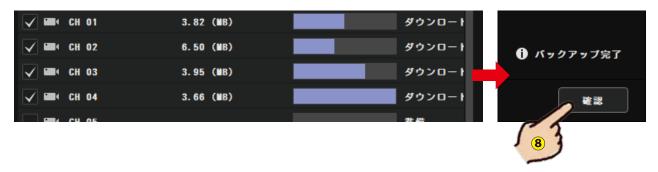
- 手順5 再生 の通常再生 (p38) の でライブパネルから再生パネルを開き



- バックアップを行うチャンネル(カメラ)にチェックを入れ、以下の必要条件を設定し最後に 開始アイコンをクリックします。
 - 機器名:選択されているデバイスの登録名称が表示されます。ここに表示される名称が バックアップフォルダに表示されます。ユーザーが変更する事も可能です。
 - ファイル名: 予定機能の為、反映されません。空欄のまま次へ進んで下さい。
 - パス:バックアップファイルを収納する PC の場所を設定します。デフォルトではビデオフォルダが設定されています。ユーザーが変更する事も可能です。
 - **ファイル形式**:バックアップファイルの保存形式を RMS または AVI から選択します。 デフォルトでは RMS が選択されています。
 - 【RMS】機器専用の動画ファイル形式です。録画された日時表示と一緒に複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ます。録画映像の再生には Windows 用の専用ソフトウェア「BackupPlayer」が必要です。「BackupPlayer」はバックアップ時に同時にインストールされます。Windows 以外の OS での再生はサポートされていません。注意:BackupPlayer や製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。
 - 【AVI】一般に広く普及した汎用の動画ファイル形式です。録画された日時を表示する事や複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ません。録画映像の再生には汎用のH.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトが利用出来ます。注意: BackupPlayer は AVI 形式のファイルを再生することは出来ません。Windows 以外の OS であっても、H.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトがあれば再生出来る場合があります。
 - 開始日時と終了日時:バックアップを開始する日時と終了する日時を設定します。 注意:ファイルサイズや PC 及びネットワーク環境から、長時間のバックアップや日を またいでのバックアップはエラーが出る可能性が高くなります。
 - **予測サイズ**: バックアップされるファイルの大きさを予測します。多チャンネルの動画を 長時間バックアップすると、非常に大きなデータになる事から、バックアップを実行する前に PC の記憶装置の空き容量より十分に小さい事を必ず確認してください。データサイズは、 バックアップの条件を全て入力し終えてから データサイズ確認アイコンをクリックします。
 - パスワード: RMS 形式でのバックアップファイルにパスワードを付ける事が出来ます。 チェックボックスにチェックを入れ、お好みのパスワードを入力して下さい。 注意: AVI 形式のバックアップファイルにはパスワードを付ける事は出来ません。



③ 選択されているカメラのダウンロードが開始されます。ダウンロードには選択されているカメラの台数、バックアップ期間(時間)、ネットワーク環境、回線速度や環境、PC スペックなどの条件から、数分から数時間の時間を有します。ダウンロードが完了しますと完了のメッセージが表示されますので確認をクリックします。



手順7 バックアップの再生

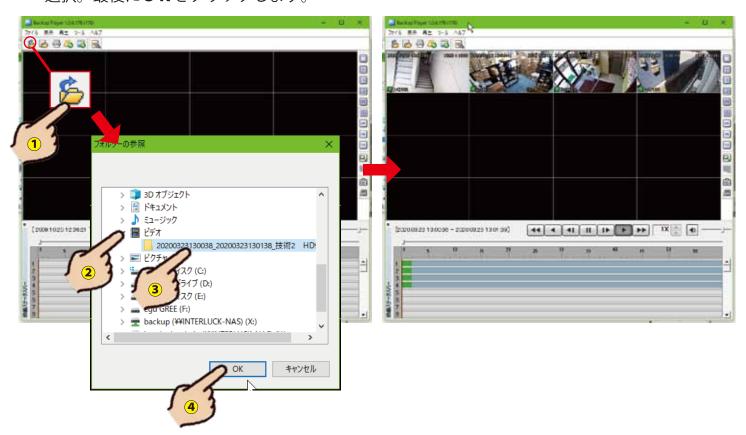
① 通常、NETUS-Pro でバックアップされたバックアップデータはお使いの PC のビデオフォルダに 保存されます。



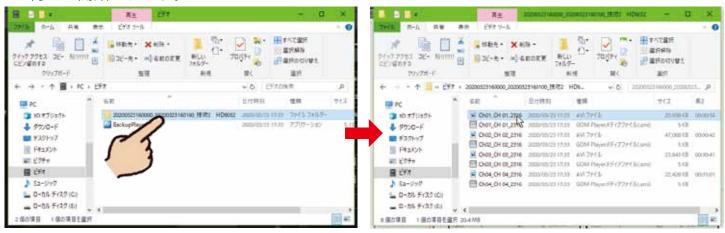
- 2 バックアップ条件の日付と時間と機器名でデータフォルダが作られます。 ファイル形式が RMS 及び AVI に問わず、専用のバックアッププレーヤー (BuckupPlayer) が バックアップと同時にインストールされます。
 - ・ファイル形式が RMS で保存されたバックアップデータの場合、この BuckupPlayer を 利用できますが、AVI 形式でバックアップされた場合は利用する事は出来ません。
 - ・レコーダーのファームウェア(F/W)が旧バージョンの場合、BuckupPlayer が同時にインストールされない場合があります。BuckupPlayer は製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。同時インストールされない場合はそちらをご利用下さい。

ファイル形式 **RMS** でバックアップされたデータの場合、この BuckupPlayer を**ダブルクリック**し **BuckupPlayer を起動**します。

ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、BuckupPlayer では無くバックアップ **データが保存されているフォルダ**をダブルクリックし、フォルダの中に入ります。 3 ファイル形式 RMS でバックアップされたデータの場合、BuckupPlayer の ち フォルダを開く アイコンをクリックし、フォルダー参照からビデオフォルダ内の再生を開始する目的のフォルダを 選択。最後に**OK**をクリックします。



ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、**データが保存されているフォルダ**内の AVI ファイルをクリックすると、PC でデフォルト設定されているプレイヤーソフトが起動し 再生が開始されます。



- PC にインストールされているプレイヤーソフトで AVI ファイルが再生できない場合、 またはレコーダーの画像圧縮が H.265 に設定されている場合は製品に付属の CD-ROM 内に 入っている、または弊社ホームページからダウンロードできる VLC Player をご利用下さい。 (VLC Player は 64bit PC 専用です)
- ・ AVI ファイルと同じフォルダに保存された「SMI」と書かれたファイルは、バックアップ映像に 日時を表示する為のものです。このファイルを削除すると日時が表示されなくなります。
 - Ch02_ ←日時データ「削除禁止」

Ch03

←AVI(動画)データ ※Windows 10 デフォルトのプレイヤーの場合

実際にこの製品をご利用頂くお客様へ

- ① 本書、本機添付取扱説明書などに**お問合せ先となる販売店(お求め頂いた業者)の詳細(名称、住所、連絡先など)の記録があるかをご確認下さい**。詳細が無い場合、大変ご面倒ですが販売店(お求め頂いた業者)へご依頼下さい。
- ② 本機を修理依頼される場合、本機(HDDを含む)と**使用されている電源アダプタ及びマウスを必ずご一緒にお出し下さい**。電源アダプタやマウスに故障や不具合の原因がある場合がございます。また**具体的な故障や不具合の症状をお知らせ下さい**。写真や動画、バックアップデータ及びハードディスクに記録されている日時などをご提供頂ければ幸いです。



業務用防犯監視カメラシステム機器国内輸入卸

有限会社インターラック

カタログやパンフレットなどに含まれる写真やイラスト、文章等の全ての権利は有限会社インターラック及び製作者が保有しており、これらの著作物を無断で使用することは法律により罰せられます

- □本 社 〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田3249-1 TEL:0985-55-0752 FAX:0985-55-0815
- □ 東京出張所 〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町7-11 シムラビル301 TEL:03-5640-6521
- □ 札幌出張所 〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西13丁目4番40 プラザビル3F SAKURA-W13

TEL:011-206-9218 FAX:011-206-9219

ホームページ:http://www.interluck.co.jp 代表 e-mail:info@interluck.co.jp

	この製品のお求めは下の販売店へお問い合わせ下さい
1	
0	
Į	

